



薬の知識学ぶ  
富大附属小で教室  
NPO法人医薬品適正使

用推進機構(名古屋市の「おくすり教室」)の22日、富山市の富大附属小で開かれ、6年生76人がクイズや実験を通して薬の効果に理解を深めた。同機構の鍋島俊隆理事長が講師を務め、富大薬学部薬物治療学研究室の教授、学生16人が協力した。児童は、薬の適切な使い方や錠剤は中身が層になっていることなどを学んだ後、胃や腸の薬の溶け方の差を見比べる実験に見入った。

## 薬は水やぬるま湯で 正しい飲み方学ぶ

富山小  
附属小



実験で水がなくても飲める薬を確認する児童

【富山】おくすり教室が22日、富山市五艘の富山大附属小学校で開かれ、児童76人が薬の正しい服用法に理解を深めた。

NPO法人「医薬品適正使用推進機構」(名古屋市)と富山大薬学部が開催した。同学部の宮本嘉明准教授が、薬の種類や適切な服用量をクイズや実験で紹介。「ジューズ

やお茶で薬を飲むと、効き目が変わったり弱くなったりすることがある」と説明し、水やぬるま湯で飲むよう勧めた。

薬の水への溶けやすさを確かめる実験を行い、水がなくても飲める薬を確認した。同法人の鍋島俊隆理事長は「小さいうちから薬についての知識を深めてほしい」と話した。